

令和3年2月25日 00523号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】

大器先輩の胸を借りて！



北見市武道館も次第に通常練習が行われるようになってきました。道場1を利用する少年柔道には北見出身の社会人がやってきます。工藤大器（たいき）さん（31歳）は北見練心会出身で5歳から柔道を始め、東海大学付属第四高等学校・名城大学・北海道警察（機動隊）と柔道修行を続けています。

昨年から阿寒湖畔駐在所に配属になり毎週北見市武道館に来て少年団や社会人と一緒に稽古をしています。子供たちは先輩の胸を借り、「一本」を取る柔道を習っていました。（佐藤）

武道振興協会事務所の花シリーズ「クリスマスローズ」 氷の薔薇 年初めに頂きました。大輪の花が咲き始めてきました。数個でもインパクトがあり、つぼみが沢山ついています。最近のクリスマスローズは大輪や八重の斑入りなど美しい花がでてきました。これからの庭には欠かせない花です。（渋谷）



連載 嘉納治五郎師範の教え 柔道の教育的価値「柔道を教育に役立てることについて」 ③⑥ 私たちの社会に、もし光と普遍的な常識を持ち込めたら、今の社会を再構築して、この世界により



大きな幸福感と満足感をもたらすことが出来るでしょうが、現実はそのための何か

が欠けていることを証明しています。このことは最善活用と相互福利と利益の教えるところではあります。私は、私たちの由緒ある道徳的戒律や衛生観念を、棚上げにしろといっているわけではありません。反対にそれらの戒律や教えが有効である限りは、常に尊重し、それに私たちの最善活用と相互福利と利益の原理を加えて、常に最高に

しておくべきだといっているのです。このことは私は確信を持って言えます。その理由としては、今日、効用について語られる評論や新思考は、裏付ける・・・つづく(講道館ネット配信より)